

婦人科の広汎手術を受けられる方へ

- ◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 様 主治医 受持ち看護師

日付	手術前日(入院日)	手術当日	術後1日目	術後2～4日目	術後3～7日目	7日目～退院日		
活動	安静度	手術の説明や検査があります。病棟を離れる際は、お伝えください。	術前	術後	術後1日目	術後2～4日目	術後3～7日目	
	排泄		入室前になったらトイレを済ませて下さい。	ベッド上で安静に過ごして下さい	<b>看護師がお手伝いしながら動く範囲を広げていきます。医師の指示があれば、リハビリが始まります。</b>	歩行が不安・不安定である場合は看護師がお手伝いします。		
	清潔	看護師がお顔をきれいにします。除毛後にシャワーを浴びてください。アートメイクやタトゥーがある方は教えて下さい。マニキュア・ジェルネイルは除去して下さい。	いつもどおり朝の洗面などして下さい。	お小水の管が入っています。	<b>お小水の管は、5日目まで留置します。</b>	看護師が温かいタオルで身体を拭きます。	術後5日目にお小水の管を抜きます。看護師と一緒に自己導尿の練習を始めます。	
食事	絶食が最後です。以降はおかし・牛乳・粒入りジュースなども禁止です。飲水(お茶・水)は21時までです。21時以降の飲水内容・量については麻酔科から指示が出ます。	飲水については指示通り行って下さい。絶食です。	絶食です。口が濡いた時は我慢せずに伝えて下さい。看護師がスポンジ等で口を潤します。	医師の許可が出たら飲水を開始します。おならがでたら食事開始のサインとなるので伝えて下さい。	看護師が温かいタオルで身体を拭きます。力での歩行可能な場合は、トイレのウォシュレットで陰部をきれいにしてください。	状態により洗髪をしますのでご相談下さい。	ドレーンが抜け、傷の状態をみて、主治医がシャワー浴を許可します。	
検査	必要時、採血やパッチテストを行います。		適宜検温を行います 医師の指示でレントゲンや、採血などがあります。	医師の許可が出たら飲水を開始します。おならがでたら食事開始のサインとなるので伝えて下さい。	鼻の管が入っている場合、飲食は鼻の管が抜けてから始まります。		3日目、7日目に採血があります。必要に応じて検査は追加になります。	
知覚	15時頃、下剤(マグコロール125ml)を飲みます。  19時頃、洗腸をします。	6時頃、洗腸をします	酸素マスクや心電図、脚にフットポンプ(血栓を予防する装置)が装着されます。痛みや吐き気がある時は点滴や注射を追加するので、遠慮なく伝えて下さい。痛み止めが管中に挿入されています。(場合により点滴になります。)創部からの出血がない等、適宜看護師が確認します。傍大動脈リンパ節部清を行った場合、胃管を入れる可能性があります。術後はドレーンという管がお腹から出ています。手術で切除した所に溜まるリンパ液や血液が管を通して出てきます。	医師による回診があります。(9時～10時頃)  ガーゼがしみてきた際は看護師にお知らせ下さい。  ドレーンからの排泄を看護師が確認します。  鼻の管からの排泄が少なくなってきたら鼻の管が抜けます。	食事は、始めは水っぽいお粥から始まり徐々にかたいお粥となり普通食となっていきます。		ドレーンの性状・量により医師がドレーンを徐々に抜いていきます。  退院前に診察があります。	
注射		手術前までに点滴を開始します。8時10分入室の場合、点滴はありません	24時間点滴をします。		食事内容や食事量によって点滴があります。			
内服薬	薬剤師が持参薬を確認します。中止となる薬はお預かりするので、その他の薬はいつも通り内服してください。	麻酔科より指示された薬を起床後に内服します。	常用薬は中止です。	常用薬の再開は、医師の指示をお待ち下さい。				
教育説明その他	入院時、病棟内の案内をします。本紙を使用し手術の説明をします。手術に必要なものを説明します。「婦人科手術を受けられる方へ」を参照して下さい。	洗面、コンタクト、眼鏡、指輪などの装飾品もすべて外し家族に渡すか金庫に入れます。湿布や絆創膏等も剥がします。家族は、手術中はラウンジで待機をお願いします。	痛みや吐き気がある時はお声かけください。				お小水の管を抜く前に自己導尿の説明をします。ドレーンが全て抜去されたからリンパマッサージを始めます。パンフレットやDVDを使って、その説明をします。	退院後の生活が安心して過ごせるように説明をしていきます。
備考								

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。